



3/3.4

ブランド化の取り組みに農林中央金庫理事長賞

第25回全国青年・女性漁業者交流会（東京都千代田区）

日ごろの研究や実践活動の成果を発表し、水産業や漁村の発展と活性化を目的とした第25回全国青年・女性漁業者交流会が行われ、新潟漁業協同組合岩船港支所の岩船港技術改良研究会青年部が農林中央金庫理事長賞を受賞しました。

同会青年部は、鮭の魚価向上を目指して「生け越し・神経締め」という神経を締めて鮮度・うまみを増す技術取得に努め、ブランド化した「白皇鮭」を各種イベントでPRしてきたことが評価されました。

代表で表彰を受けた高木雅貴さん（岩船岸見寺町）は「各地で鮮度・食味で評価され、通常の鮭より高価で販売することができた。今後も鮮度の良い岩船産の鮮魚を市場に提供していきたい」と話してくれました。



▲代表で表彰を受けた高木さん

3/25

退任後も村上とのつながりを

地域おこし協力隊の川村さんが退任（山北地域）



▲最後のミーティング後、シルクフラワーを贈呈

山北地域の買い物困難者支援に取り組む地域おこし協力隊として活動した川村悠樹さんが、3年間の任期を終え、3月末で退任しました。

新型コロナウイルスの影響で地域の皆さんに成果を報告する機会は設けられませんでした。さまざまな団体と連携し買い物ツアー「おでかけさんぽぽ」を実施してきたことで、山北地域に買い物支援の仕組みを残してくれました。

「退任後は、新潟の食材を扱う東京のカフェ兼アンテナショップで働きながら、村上とのつながりを持ち続けたい」と語っていました。

▶新たな気持ちで学生生活をスタート



4/7

コロナに負けず有意義な学生生活を

新潟リハビリテーション大学入学式（同校大講義室）

新潟リハビリテーション大学の令和2年度入学式が行われ、新入生66人と大学院生10人が新たな学生生活のスタートを切りました。例年、入学式は新潟看護医療専門学校村上校と合同で行われてきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため単独で開催。3密を防ぐために窓を開けて換気し、席を離すなどの措置を講じて開催しました。

式典に臨んだ新入生の渡邊理央さん（山居町一丁目）は「入学式の式典縮小は残念でしたが、新たな気持ちでスタートを切ることができました。作業療法士の国家資格取得を目指しているので、基礎からしっかりと勉強していきます」と話してくれました。

4/7

神林の小学校2校、新たな歴史へ

開校式典（平林小学校、神納小学校）

今年度から神林地域で開校した新「平林小学校」と新「神納小学校」で開校式典が行われました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、会場の窓を開け、座席に間隔をとり、参加された全ての人々がマスクを着用しての開催となりました。

式典では、最初に遠藤教育長から校長先生へ校旗の授与があり、次に児童代表による喜びのことばの発表がありました。

続いて、全校児童による校歌の斉唱が披露され、1番のみの斉唱となりましたが、どちらの学校も児童の元気な歌声が体育館に響き渡りました。



▲校旗を受け取る平林小学校の高橋明校長先生（上）と神納小学校の小山和浩校長先生（下）。

他にもむらかみの話題をブログ形式で掲載中

村上市 広報日記

検索